

平成19年度 第5回小平市図書館協議会（要旨）

1 日 時 平成20年1月24日（木）午後3時～5時

2 会 場 中央図書館会議室

3 出席者 協議会委員：13人 傍聴者：なし

4 配布資料 資料については省略させていただきます。

5 議 事

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

ア 図書館行事等の報告と今後の予定について

報告の主な内容

- ・ 多摩島しょ子ども体験塾事業として、さとうわきこ絵本原画展（11/17～26）及び講演会（11/25）開催
- ・ 各図書館で子どもおたのしみ会（12月）を実施
- ・ 雑誌のブックリサイクル（1/19）を実施

予定の主な内容

- ・ 郷土写真展（2/2～3/6）
- ・ 児童図書ブックリサイクル（2/4～2/8）
- ・ 多摩地域公立図書館大会開催（2/5～7、2/20）
- ・ 小平図書館友の会主催「図書館利用者懇談会」（2/13）
- ・ 一般書、文学書ブックリサイクル（2/4～2/8）

イ 蔵書点検について

今回は、図書館システムの入替えと併せて実施したため、開架部分のみ点検。

② 12月市議会について

図書館絡みの一般質問は4件

- ・ 仲町図書館・公民館の建て替えに関するもの（2件）
 - ・ 臨時休館の時期とオムツ交換台の設置について
 - ・ 個人向けの児童本のブックリサイクルの実施について
 - ・ 小平市の地域課題に関する図書館の情報発信基地としての充実について
- 12月市議会において、24人の議員から70件の一般質問あり、その情報源158件のうち、図書館が所蔵する資料が67件、インターネットで検索できる情報が121件あった。地域課題を解決するための情報支援として、情報発信基地としての図書館

の果たす役割がますます重要になってきている。ホームページの充実等情報提供の在り方を、より一層研究していく必要があると考えている。

③ ふるさと新聞元旦号展について

恒例の行事として、中央図書館、大沼図書館で実施した。今回は、読売新聞で紹介された。

④ 学校図書館支援センター推進事業について

1月21日、平成20年度も継続事業として、文部科学省に対し継続申請を行った。経費の主な内容は、図書館協力員と図書の搬送についてである。が、国の予算も厳しい状況のため、申請額が認められるかは不明である。

⑤ 小平図書館友の会からの寄贈について

デジタルカメラ・ICレコーダー・世界百科事典（平凡社版）の寄贈を受けた。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：学校図書館支援センター事業の継続期間及び小学校は、この事業の対象にならないのか。

事務局：この継続事業の期間は3年間である。中学校の学校図書館は、小学校に比べて活用が低いため、優先的に事業の実施をしている。小学校については、予算面で厳しいため実施していない。

委員：児童本リサイクルの方法は。

事務局：児童本リサイクルは2月4日から7日までの4日間開催の予定。団体を対象とし、主に絵本と文学で状態の良いものを提供している。クラス・学年当たり50冊を限度としている。ある程度使ってもらえるような図書を選択するように配慮している。

委員：仲町図書館の建て替えの見通しは。

事務局：この問題について6月議会でも一般質問が出されたが、まとまった案ができていないのが現状である。図書館としても必要な経費等を政策課に提出しているところである。予算計上は、早くて平成21年度にならざるを得ない。

委員：仲町図書館と仲町公民館の合築ということか

事務局：基本的には合築の方向で進んでいる。建て替えの場所としては、仲町公民館の敷地の方が面積が広いが、容積率の問題で2階まで、図書館の方は4階までと聞いている。

委員：学校図書館協力員のこれまでの経過と成果及び今後の展開は。

事務局：協力員の仕事内容は、各学校の方針の中で活動しているため、若干異なる事もあるが、主な仕事として司書教諭のサポート・学校図書館の整備を行なっている。4月より3年目に入る。日報の記入や、月1回研修を行っている。図書館と学校との連携をさらに強化していきたい。

委員：文部科学省の提示している平成20年度学校図書館支援センター事業の経費の上限額が、19年度と比較して減額になっているが、その差額をどうするのか。

事務局：計上している当初予算額の満額が獲得できるよう強く要求していく。

委員：市議会議員への図書資料提供等のサポートは。

事務局：議員の方々へはもちろんのこと、図書館としては、市民と協働で地域の課題を解決できるよう情報提供を積極的に進めていきたい。特にホームページの充実等を図っていきたい。

委員：児童本リサイクルにおける残部の処理は。

事務局：保育園・児童課等へ声をかけていく。最終的に残部については、一般市民への配布を検討している。特に乳幼児向けの図書については、書庫にある蔵書をリサイクルに活用する方向で検討していきたい。

委員：地域資料展示「チラシで発見 小平の今と昔」は大変意義のある展示であると思う。いつ頃からのチラシをどんな展示方法で行っているのか。

事務局：チラシの収集は、昭和54年（1979年）から花小金井図書館で始まった。市民から一橋学園の開発のチラシや多摩湖線の歴史に関わるチラシも寄贈していただいております。歴史を紐解く貴重な資料である。小学校で“郷土を知る”教材としてチラシを活用した事例もあった。

展示方法は、テーマ、年代別に展示している。

委員：チラシの紙質にも気をつけながら、保存対策にも十分配慮してほしい。

事務局：製本して保存をしている都合上、折り目があり多少問題があるかもしれないが、利用頻度が少ないため状態は良い。

委員：保存はカテゴリー別か。

事務局：広告年鑑のジャンル別を利用して分類表を作成し、その中を日付順に整理している。

委員：多摩地域公立図書館大会の通知については、第2分科会で障がい者サービスがあるので、社会福祉協議会にも早めに連絡してほしい。

事務局：一般参加者の当日受付があるので、参加希望の方は直接会場へ行っていただくようお願いしたい。社会福祉協議会へは今後関連がある場合は、連絡するようにする。

委員：学校図書館支援センター協力員の更新はするのか

事務局：平成20年度の採用については未定だが、まず、事前に学校及び現協力員の意向調査を行うことを考えている。

委員：小平市のように体系的にチラシの収集を開催している市はあるのか。

事務局：調布市が小平市のシステムを参考にして、収集している。調布市には撮影所があったので映画関係の資料を数多く収集している。

委員：学校図書館支援センター事業における先生方への手引書の内容と配付対象は。

事務局：学校図書館を活用していただくためのもので市内小・中学校の全教諭に配布する予定である。内容はシステムの使い方、本の探し方、分類等で、使いやすさを重視した40ページ程度のものである。

委員：先生方がまず学校図書館の意義を十分理解し、協力員やボランティア等と協力して学校図書館が活用されていくと良いので配慮をお願いしたい。

(2) その他

事務局：多摩地域公立図書館大会は、東京都職員研究大会に代わって3年前から始まった。市民も参画できる大会に位置付けられ、5つの分科会が設けられている。興味関心のある分野にご参加ください。

委員：最近、利用者のマナーが悪くなっており、貸出履歴を記録している図書館もあるようだがどう考えているか。

事務局：小平市も例外ではなく、落書き・切り取り・紛失の事例を含めて、これらの対応に苦慮している。読書履歴については、個人情報の問題もあるので小平市では返却された時点で消去するシステムとなっている。

事務局：多摩六都の館長協議会では、地震災害、事件事故等の危機管理をどうするのか2年間にわたって協議し、地域の実情に合わせた危機管理マニュアルをまとめた。次回の図書館協議会に報告する予定である。

委員：何が悪書で良書なのか判断は難しいので、閲覧する側の人権の視点に立った、図書館の基本的な考え方が大切だと思う。

ブックリサイクルに関して、初版本とその後出版されたものとは、色構成等違う場合もあるので、複本だからといって安易に提供するのではなく、内容をよく調べる必要がある。あわせて広域での保存図書館の構想も検討して欲しい。

委員：不明図書を補充することはできるのか。

事務局：絶版で手に入らない本もあり、難しい。小平市の図書館は、同じ人口規模の自治体と比較して蔵書数が多く、しかも高額の本が開架にたくさんある。しかし、閉架に保管するのではなく、自由に閲覧できる開放型図書館としての運営は今後も継続していきたい。